

住 民 か ら の 主 な 意 見

I 河川整備計画について

- (01) 災害はいつくるか分からないので、急いで整備計画を進めるべき。住民にとって安全な川にしてほしい。
- (02) 堤防の嵩上げや河川幅の拡張は出来ないのか。
- (03) できるだけ河川敷を掘削せず、河床掘削だけにできないのか。
- (04) 下流部は堆積傾向であり河床掘削しても土砂がまた堆積する。どのような維持管理を行っていくのか。
- (05) 感潮区間では海水位によって流水断面が決まるので、河床掘削は意味がない(海底を掘削するようなもの)ではないか。
- (06) 南武橋地点では河積を広くするべき。上流側を広くしても南武橋地点で流れを止めてしまうのではないか。
- (07) 旧国道上流の尼崎側はカーブで流水が当たる側なのに掘削しても大丈夫か。西宮側だけを掘削することにはできないのか。
- (08) 阪神電鉄やJRの橋梁が流水を阻害している。どのような対策を考えているのか。
- (09) せっかく造った潮止堰をなぜ壊すのか。
- (10) 潮止堰撤去に伴い、大阪湾の汚れた海水が遡上する。河川水質の維持の観点から、潮止堰は撤去すべきではない。
- (11) 武庫川では、津波対策や耐震対策(液状化対策)はどのように考えているのか。
- (12) 津波の破壊力は大きく、堤防が削られる。河川敷の掘削は堤防を弱くすることになり、矛盾するのではないか。
- (13) 堤防天端まで洪水がきても堤防が耐えられるような補強対策を行うべきではないか。
- (14) 武庫川の堤防は土砂で出来ているため、堤防強化対策はドレーン工法よりも、川表側の強度を高める護岸工などを優先するべきではないか。
- (15) 多少コストが高くても、住民の理解が得られる工事内容とすべきではないか。

II 河川敷利用のあり方について

- (16) 流路内の雑木を伐採したり、河川敷の高低木を適正に剪定することで、河川敷掘削や低水路幅は不要となるのではないか。
- (17) 景観や自然環境の保全上、河川敷の樹木は切らないで欲しい。樹木を切る場合は、移植、若しくは、代償植樹を行って欲しい。
- (18) 環境と安全のため、ホームレスや不法占拠対策を行って欲しい。
- (19) 子供達が運動できる代わりの場所をつくって欲しい。小学校、中学校、高校を開放してもらえないか。
- (20) 多様なチャンネルを使っての住民周知、メディアを使ったアンケート調査など、もっと住民説明を行うとともに、意見を聴くべき。